

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月5日

上場会社名 株式会社 鶴見
 コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 杉原 隆義
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日 配当支払開始予定日 平成20年12月8日

上場取引所 東 名

TEL 0569-29-7311

平成20年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	5,912	—	78	—	△70	—	△92	—
20年3月期第2四半期	6,257	0.7	278	△36.8	252	△40.3	133	△43.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△11.92	—
20年3月期第2四半期	17.16	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	19,599	—	8,868	45.2	—	—	1,143.15	—
20年3月期	19,948	—	9,045	45.3	—	—	1,165.94	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 8,868百万円 20年3月期 9,045百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,594	△0.5	350	△34.0	66	△80.4	△17	—	△2.30

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 7,767,800株 20年3月期 7,767,800株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 10,099株 20年3月期 10,099株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 7,757,701株 20年3月期第2四半期 7,757,701株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融資本市場の混乱の中、原油高・資源高とともに米国景気の後退懸念等の影響を受け、国内景気は減速傾向が一段と高まってまいりました。

当業界におきましても、個人消費マインドの停滞感の強まりを受け新設住宅着工戸数が軟調に推移するなか、燃料価格の高騰が製造原価を大幅に押し上げ、同業者のF形瓦増産体制も相まって熾烈な価格競争が続き、厳しい状況となっております。

このような情勢下当社は、戦略製品である防災瓦「スーパートライ110シリーズ」の拡販及び長期的視点から新しい需要を開拓すべく、政府が推奨する200年住宅を意識した、屋根の耐久性を追求したフリーエアー工法（システム屋根材）を提案し、営業活動を強化するとともに、原油高・資源高で高騰した材料費や燃料費等を吸収すべく、製品価格の値上げにも努めてまいりました。しかしながら、価格競争の激しい当業界にあって、敢えて価格競争を回避した販売体制を継続したこと等により粘土瓦の販売が落ち込み、在庫調整を余儀なくされるなど、経営環境に厳しさを増しました。

この結果、当第2四半期会計期間における売上高は3,087百万円、営業利益51百万円、経常利益6百万円、四半期純損失16百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産額は、たな卸資産の減少等により前事業年度末に比べ348百万円減少し19,599百万円となりました。負債総額は、長期借入金の減少等により前事業年度末に比べ172百万円減少し10,731百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前事業年度末に比べ176百万円減少し8,868百万円となり、自己資本比率は45.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期会計期間末に比べて24百万円増加し、723百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、308百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の減少額278百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、49百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出70百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、233百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出218百万円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益は18,821千円減少し、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ18,821千円増加しております。

5 . 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,242	657,033
受取手形及び売掛金	2,149,180	1,616,307
商品	59,938	64,772
製品	1,737,005	2,308,183
原材料	32,470	31,049
仕掛品	52,588	57,185
その他	438,281	381,323
貸倒引当金	117,502	55,219
流動資産合計	5,087,204	5,060,636
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,992,247	2,032,855
機械及び装置 (純額)	2,179,664	2,397,260
土地	9,153,286	9,163,376
建設仮勘定	16,875	41,277
その他 (純額)	549,026	589,272
有形固定資産合計	13,891,101	14,224,042
無形固定資産	21,544	26,525
投資その他の資産		
投資有価証券	237,262	249,979
その他	531,679	589,427
貸倒引当金	169,519	202,527
投資その他の資産合計	599,422	636,879
固定資産合計	14,512,068	14,887,447
資産合計	19,599,273	19,948,083

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,870,733	1,751,631
短期借入金	5,300,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	450,000	458,000
未払法人税等	14,756	44,957
賞与引当金	172,965	192,757
その他	527,145	524,618
流動負債合計	8,335,599	8,271,964
固定負債		
長期借入金	1,710,000	1,930,000
退職給付引当金	57,954	63,214
役員退職慰労引当金	622,467	629,726
その他	5,000	8,164
固定負債合計	2,395,421	2,631,104
負債合計	10,731,020	10,903,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	3,727,336	3,897,371
自己株式	5,703	5,703
株主資本合計	8,832,957	9,002,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,294	42,021
評価・換算差額等合計	35,294	42,021
純資産合計	8,868,252	9,045,014
負債純資産合計	19,599,273	19,948,083

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	5,912,496
売上原価	4,871,482
売上総利益	1,041,014
販売費及び一般管理費	962,036
営業利益	78,978
営業外収益	
受取利息	4,273
受取配当金	4,329
その他	19,313
営業外収益合計	27,916
営業外費用	
支払利息	53,838
手形売却損	10,087
工場休止に伴う諸費用	113,892
営業外費用合計	177,818
経常損失()	70,923
特別利益	
固定資産売却益	4,208
特別利益合計	4,208
特別損失	
固定資産除売却損	6,313
貸倒引当金繰入額	4,000
訴訟関連損失	19,010
特別損失合計	29,323
税引前四半期純損失()	96,038
法人税、住民税及び事業税	6,220
法人税等調整額	9,801
法人税等合計	3,580
四半期純損失()	92,458

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	3,087,186
売上原価	2,559,644
売上総利益	527,542
販売費及び一般管理費	476,337
営業利益	51,204
営業外収益	
受取利息	2,808
その他	8,635
営業外収益合計	11,443
営業外費用	
支払利息	27,412
手形売却損	5,242
工場休止に伴う諸費用	23,693
営業外費用合計	56,347
経常利益	6,300
特別利益	
固定資産売却益	4,208
特別利益合計	4,208
特別損失	
固定資産除売却損	140
貸倒引当金繰入額	1,000
訴訟関連損失	4,737
特別損失合計	5,877
税引前四半期純利益	4,630
法人税、住民税及び事業税	10,078
法人税等調整額	31,120
法人税等合計	21,041
四半期純損失()	16,410

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失()	96,038
減価償却費	361,134
貸倒引当金の増減額(は減少)	29,275
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,260
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,259
賞与引当金の増減額(は減少)	19,792
受取利息及び受取配当金	8,602
支払利息	53,838
売上債権の増減額(は増加)	534,255
たな卸資産の増減額(は増加)	586,233
仕入債務の増減額(は減少)	119,101
割引手形の増減額(は減少)	69,810
未払費用の増減額(は減少)	159
その他	160,816
小計	569,539
利息及び配当金の受取額	8,578
利息の支払額	72,972
法人税等の支払額	35,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	105,189
有形固定資産の売却による収入	9,967
無形固定資産の取得による支出	244
貸付金の回収による収入	23,136
その他	14,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	228,000
配当金の支払額	77,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	305,310
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	78,208
現金及び現金同等物の期首残高	645,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	723,242

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を7～12年としておりましたが、第1四半期会計期間より5～9年に変更しております。

平成20年度法人税法改正を契機として利用状況等を見直した結果、耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益は25,602千円減少し、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ29,480千円増加しております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別	前年同四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
J形瓦	1,396,857	1,083,580	2,659,151
F形瓦	3,950,433	2,830,745	6,986,503
M形瓦	345,852	366,933	729,871
合計	5,693,143	4,281,258	10,375,527

- (注) 1. 金額表示は平均売価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別	前年同四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)		
	販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)	
製品	J形瓦	1,730,152	27.6	1,446,405	24.5	2,996,972	25.7
	F形瓦	3,639,890	58.2	3,542,554	59.9	6,932,022	59.5
	M形瓦	397,325	6.4	433,677	7.3	787,936	6.8
商品	その他	382,150	6.1	356,363	6.0	713,323	6.1
工事売上		107,917	1.7	133,495	2.3	218,381	1.9
合計		6,257,435	100.0	5,912,496	100.0	11,648,636	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		6,257,435 100.0
II 売上原価		4,839,004 77.3
売上総利益		1,418,431 22.7
III 販売費及び一般管理費		1,140,344 18.3
営業利益		278,086 4.4
IV 営業外収益		40,837 0.7
V 営業外費用		66,687 1.1
経常利益		252,237 4.0
VI 特別利益		8,474 0.2
VII 特別損失		12,054 0.2
税引前中間純利益		248,656 4.0
法人税、住民税及び事業税	101,315	
法人税等調整額	14,206	115,522 1.9
中間純利益		133,133 2.1

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	248,656
減価償却費	307,823
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△7,857
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△3,363
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	5,690
賞与引当金の増減額(減少:△)	△1,172
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△11,770
受取利息及び受取配当金	△6,336
支払利息	41,676
売上債権の増減額(増加:△)	51,556
たな卸資産の増減額(増加:△)	△426,240
仕入債務の増減額(減少:△)	△147,926
割引手形の増減額(減少:△)	483,266
その他	△44,041
小計	489,962
利息及び配当金の受取額	6,276
利息の支払額	△52,147
法人税等の支払額	△218,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,406
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△564,818
有形固定資産の売却による収入	2,385
無形固定資産の取得による支出	△2,391
投資有価証券の取得による支出	△1,000
貸付けによる支出	△9,600
貸付金の回収による収入	11,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563,649
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△446,000
配当金の支払額	△57,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	596,026
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	257,783
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,497,795
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,755,578

平成21年3月期 第2四半期決算短信 (参考資料)

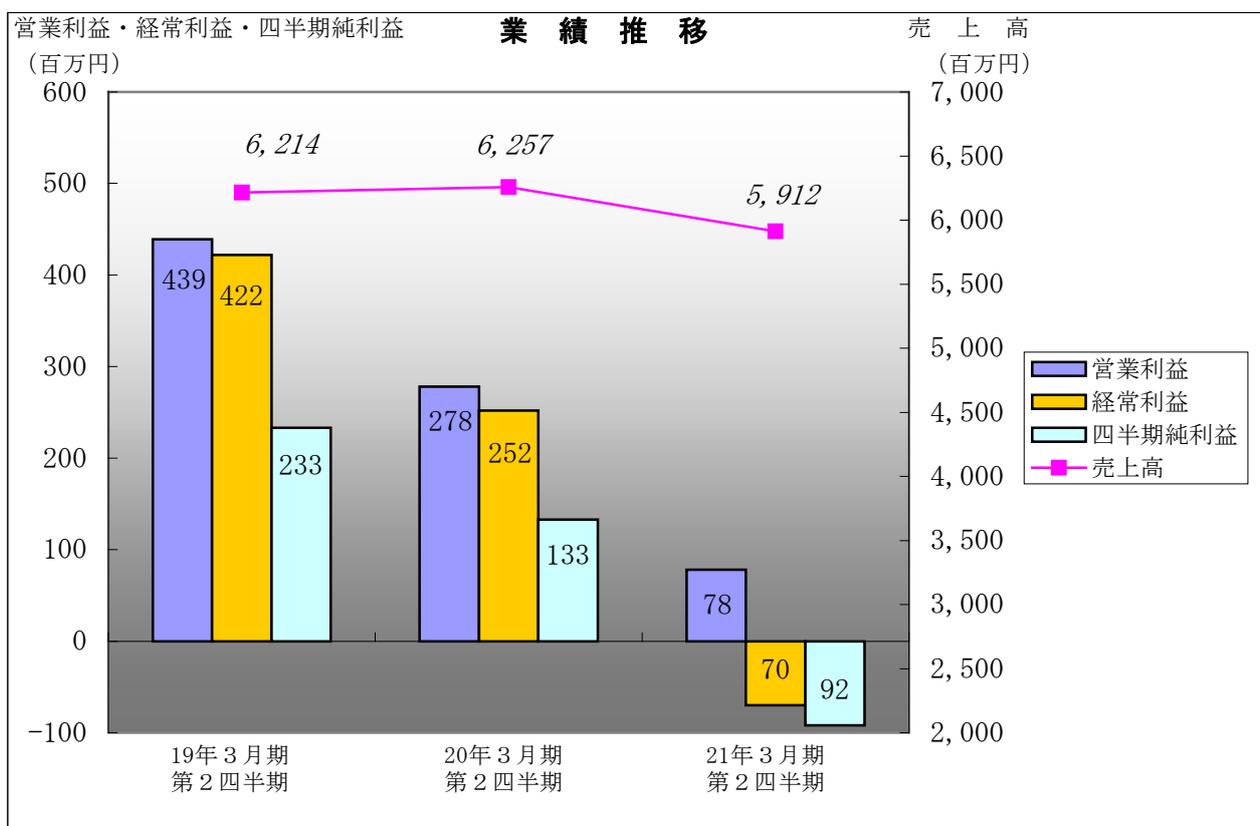
平成20年11月5日

株式会社 鶴 弥
コード番号 5386 (東証・名証二部)

1. 業 績 (累計期間)

(単位：百万円)

	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	19年3月期	20年3月期
売上高	6,214	6,257	5,912	12,133	11,648
営業利益	439	278	78	1,092	531
経常利益 (△損失)	422	252	△70	1,022	340
四半期(当期)純利益 (△損失)	233	133	△92	350	183
1株当たり四半期(当期)純利益 (△損失)	33円56銭	17円16銭	△11円92銭	49円71銭	23円69銭



2. 業績の説明 (会計期間)

個人消費マインドの停滞感の強まりを受け新設住宅着工戸数が軟調に推移するなか、燃料価格の高騰が製造原価を大幅に押し上げ、同業者のF形瓦増産体制も相まって熾烈な価格競争が続き、厳しい状況となっております。

このような情勢下当社は、戦略製品である防災瓦「スーパートライ110シリーズ」の拡販及び長期的視点から新しい需要を開拓すべく、政府が推奨する200年住宅を意識した、屋根の耐久性を追求したフリーエアー工法（システム屋根材）を提案し、営業活動を強化するとともに、原油高・資源高で高騰した材料費や燃料費等を吸収すべく製品価格の値上げにも努めてまいりました。しかしながら、価格競争の激しい当業界にあって、敢えて価格競争を回避した販売体制を継続したこと等により粘土瓦の販売が落ち込み、在庫調整を余儀なくされるなど、経営環境に厳しさを増しました。

この結果、当第2四半期会計期間における売上高は3,087百万円、営業利益51百万円、経常利益6百万円、四半期純損失16百万円となりました。

3. 販 売 実 績 (累計期間)

区 分 品 目 別		20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期		増減率
		販 売 金 額	構 成 比	販 売 金 額	構 成 比	
製 品	J 形 瓦	1,730 百万円	27.6 %	1,446 百万円	24.5 %	16.4 %減
	F 形 瓦	3,639 百万円	58.2 %	3,542 百万円	59.9 %	2.7 %減
	M 形 瓦	397 百万円	6.4 %	433 百万円	7.3 %	9.1 %増
商 品	そ の 他	382 百万円	6.1 %	356 百万円	6.0 %	6.7 %減
工 事 売 上		107 百万円	1.7 %	133 百万円	2.3 %	23.7 %増
合 計		6,257 百万円	100.0 %	5,912 百万円	100.0 %	5.5 %減

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 中 間 配 当 金

1株につき5円の間配当金を実施いたします。

5. 財 政 状 態

	20年3月期 第2四半期会計期間末	21年3月期 第2四半期会計期間末	20年3月期
総 資 産	21,651 百万円	19,599 百万円	19,948 百万円
純 資 産	9,116 百万円	8,868 百万円	9,045 百万円
自 己 資 本 比 率	42.1 %	45.2 %	45.3 %
1株当たり純資産	1,175円 16銭	1,143円 15銭	1,165円 94銭

(注) 期末発行済株式数 20年3月期第2四半期 7,767,800株 期末自己株式数 20年3月期第2四半期 10,099株
(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 7,767,800株 21年3月期第2四半期 10,099株
20年3月期 7,767,800株 20年3月期 10,099株

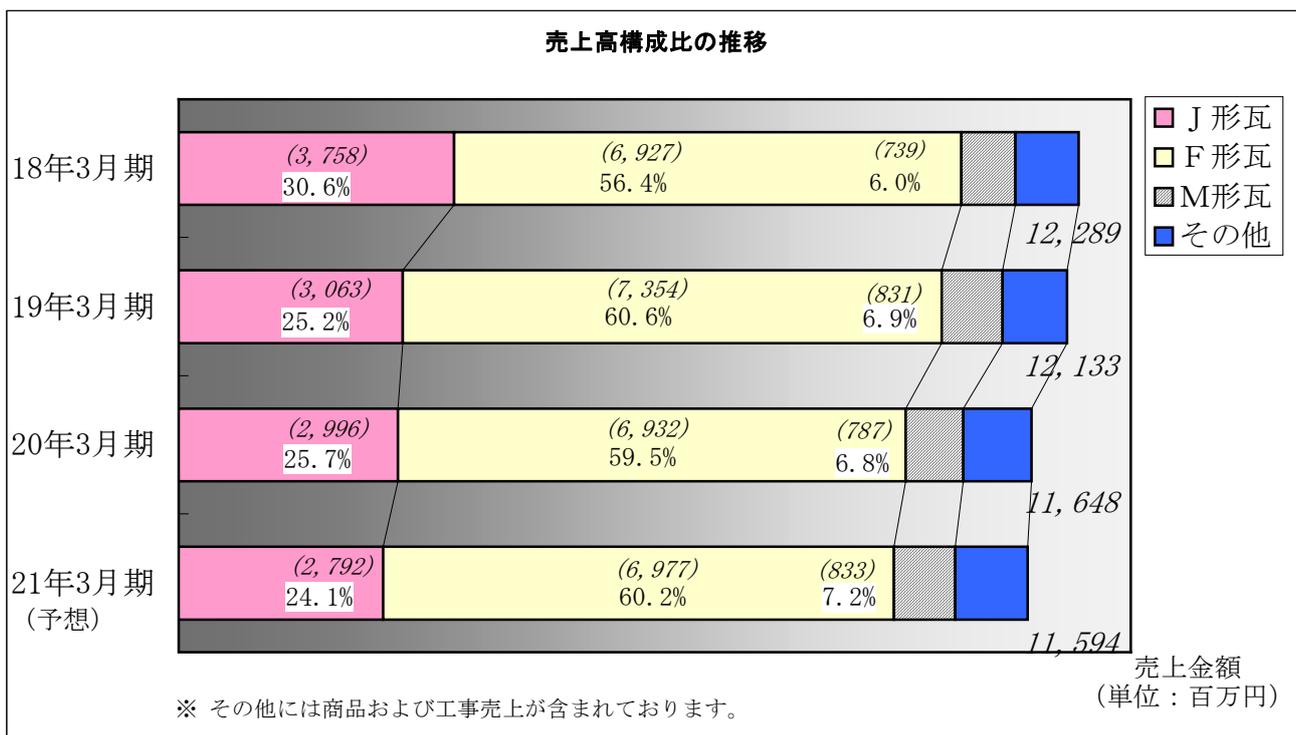
6. 通 期 の 業 績 予 想

	20年3月期	21年3月期 (予想)	増 減 率
売 上 高	11,648 百万円	11,594 百万円	0.5% 減
営 業 利 益	531 百万円	350 百万円	34.0% 減
経 常 利 益	340 百万円	66 百万円	80.4% 減
当期純利益(△損失)	183 百万円	△17 百万円	—
1株当たり当期純利益(△損失)	23円 69銭	△2円 30銭	—

販 売 予 想

区 分 品 目 別		20年3月期		21年3月期 (予想)		増減率
		販 売 金 額	構 成 比	販 売 金 額	構 成 比	
製 品	J 形 瓦	2,996 百万円	25.7 %	2,792 百万円	24.1 %	6.8 %減
	F 形 瓦	6,932 百万円	59.5 %	6,977 百万円	60.2 %	0.7 %増
	M 形 瓦	787 百万円	6.8 %	833 百万円	7.2 %	5.8 %増
商 品	そ の 他	713 百万円	6.1 %	725 百万円	6.2 %	1.7 %増
工 事 売 上		218 百万円	1.9 %	265 百万円	2.3 %	21.8 %増
合 計		11,648 百万円	100.0 %	11,594 百万円	100.0 %	0.5 %減

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



7. 設備投資

	20年3月期			21年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
設備投資額	722百万円	173百万円	895百万円	40百万円	77百万円	118百万円
減価償却費	307百万円	313百万円	620百万円	361百万円	367百万円	728百万円
主たる設備投資	・阿久比工場第3ライン新設 (F形棧瓦) 866百万円			(上期) ・衣浦第2ライン 設備改造 20百万円 (下期予想) ・西尾工場 設備改造 30百万円		

8. 配当予想

1株当たり10円の年間配当金を予定しております。